

新型コロナワクチン接種を検討されている  
お子さまの保護者の方へ

# 新型コロナワクチン コミナティについて



監修 **森内 浩幸** 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学分野 教授

## お子さまへの新型コロナワクチン接種について

(お子さまともお話し合ってください)

**接種するメリット(期待できること)とデメリット(不安なこと)を考慮いただき、お子さまのワクチン接種についてご判断ください。**

新型コロナワクチン接種のメリットとデメリットを下記に挙げました。お子さまのかかりつけ医とも相談し、十分な説明を受けてください。お子さまに基礎疾患がある場合、新型コロナウイルス感染症を発症すると重症化する恐れがありますので、積極的に接種を受けたほうがよいと考えられます。

お子さまとも話し合い、納得した上で、接種を受けるかどうかご判断ください。

### ワクチン接種のメリット

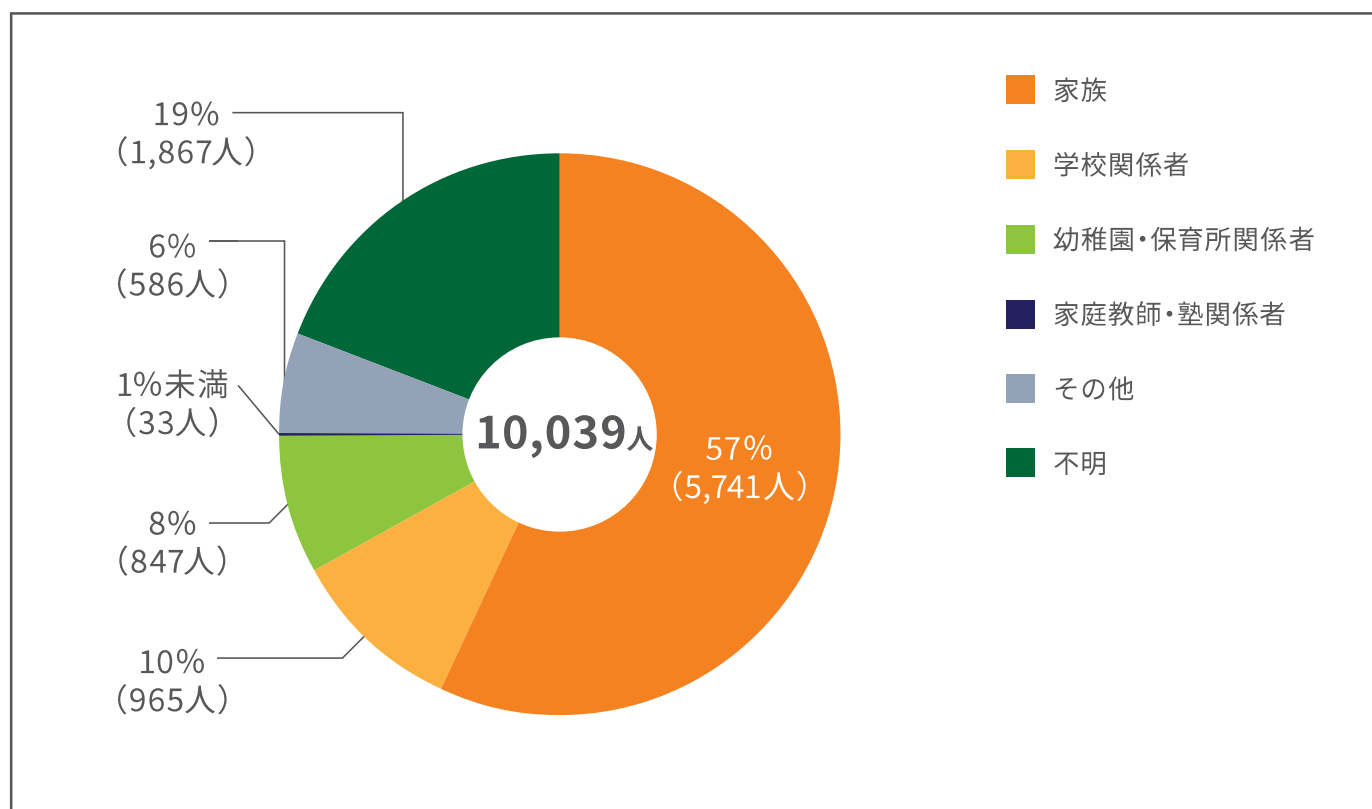
- 新型コロナワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が臨床試験で確認されています。その他、重症化予防効果に関する臨床試験成績も報告されています。
- なお、新型コロナウイルスは変異を繰り返しており、重症化率やワクチンの予防効果などにも今後変化が生じる可能性があります。最新情報は、厚生労働省のQ&Aや日本小児科学会のホームページをご確認ください。
- お子さまが新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、本人が学校などを休むだけでなく、保護者も仕事を休まざるを得なくなることがありますが、ワクチン接種により、これを防げる可能性があります。

### ワクチン接種のデメリット

- 国内では小児接種は始まったばかりであり、副反応などの安全性データはまだ十分とはいえません(注射した部分の痛み、倦怠感、頭痛、発熱などはほとんどの場合2~3日で軽快するといわれています)。
- まれにショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。
- まれに心筋炎や心膜炎があらわれることがあります。

小児を含む20歳未満の新型コロナウイルス感染では、**半数以上が家庭内からの感染**です。

小児感染に対する先行感染者の内訳(10,039人)



日本小児科学会: COVID19 日本国内における小児症例  
[https://www.coreregistry.jp/CoreRegistry\\_COVID19\\_CRF\\_Dashboard/Home/DashBoardviewer](https://www.coreregistry.jp/CoreRegistry_COVID19_CRF_Dashboard/Home/DashBoardviewer)  
(最終アクセス: 2022年10月11日)

**新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにも、  
感染症対策として、まずは保護者の皆さまの接種、  
そしてお子さまの接種についてご検討ください。**

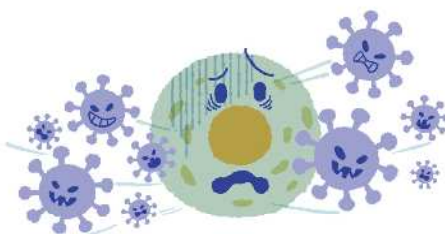
## mRNAワクチンとは

コミナティ(以下、本ワクチン)はメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンという種類のワクチンです。

mRNAワクチンは、私たちの体内でウイルスのタンパク質の一部を作らせ、それを異物と認識して攻撃する仕組み(免疫)に記憶させます。そうすることで、本物の新型コロナウイルスが体内に入ったときに、抗体がウイルスを捕まえたり、免疫細胞がウイルスに感染した細胞を攻撃して、発症や重症化を予防することができますようになります。

### 新型コロナウイルスの感染

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が体内から細胞内に侵入すると...



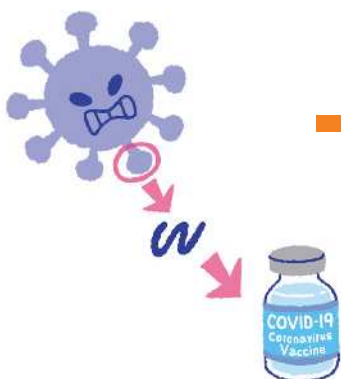
細胞内で増え、  
新たなウイルスを放出します。



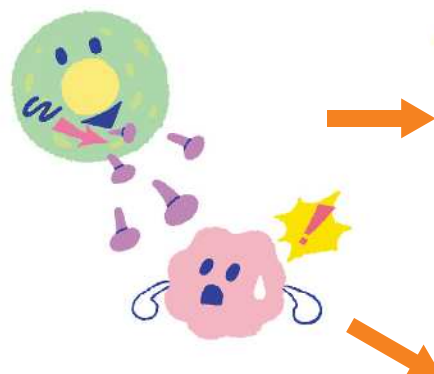
感染した人から  
出てきたウイルスが  
飛沫(しぶき)として  
また空気中を漂って  
他の人に感染を  
広げていきます。

### mRNAワクチン

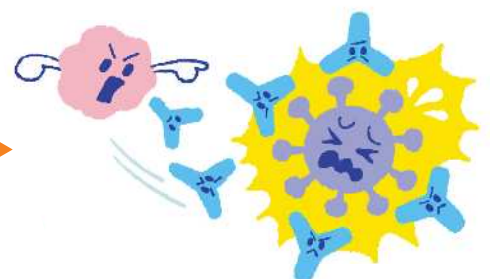
ウイルスのタンパク質の  
一部を作る情報(mRNA)を  
ワクチンにして、接種します。



細胞内でワクチンから  
タンパク質を作り、  
免疫細胞が異物として記憶します。



免疫細胞はウイルスを  
捕まえる抗体を作り...



本物のウイルスが体内に  
入り込んだ時に攻撃します。

免疫細胞がウイルスに  
感染してしまった細胞を  
攻撃します。

